

東北楽天ゴールデンイーグルスの事業が少年野球の普及に与える影響に関する研究

A study of influence that business of Tohoku Rakuten Golden Eagles gives to spread of little leagues

1K06B088

指導教員 主査 木村和彦先生

熊谷 祥貴

副査 松岡宏高先生

1. 緒言

宮城県ではスポーツ少年団軟式野球の団員数増加が顕著である。しかし、他のスポーツの団員数は減少傾向で宮城県のスポーツ少年団全体としてスポーツ熱が高まっていると言うことは難しいと考えられる。

2005 年から宮城県に本拠地を置く東北楽天ゴールデンイーグルスがプロ野球に参戦した。かつては地元住民とのつながりがあまりなかったプロ野球界であったが、現在は多くのチームが野球教室や指導者講習会を開催するなど、野球の普及とともに地域への貢献活動を行っている。本研究では、地域密着型のスポーツへ変わりつつあるプロ野球の球団が行う事業が与える影響に着目した。

2. 研究方法

創立当初から地域密着活動を行っており、他の球団よりも地域とのつながりが深いと考えたため、東北楽天ゴールデンイーグルスを研究の対象とした。東北楽天ゴールデンイーグルスが行っているベースボールスクール参加者の保護者に対して、8 月中旬に 3 回の質問紙調査を行い、お子様の野球活動、東北楽天ゴールデンイーグルスが行っている事業について質問した。

ベースボールスクールへの参加が、新しく野球チームに所属するきっかけとなった子どもがいるか、さらにベースボールスクールのコースや学年、野球歴などの違いによって結果が異な

ってくるのかを明らかにする。また、球団が実施している地域密着活動において、少年野球の普及にどの活動がどの程度の影響を与えているかも明らかにし、プロ野球球団の地域密着活動について考察していけたらとも思う。

3. 結果・考察

ベースボールスクールへの参加が他の野球チーム所属のきっかけになっているかとベースボールスクールの参加コース、学年、野球歴、所属チームの設立年数、市町村郡とでそれぞれクロス集計とカイ 2 乗検定を行った結果、サンプル数が少なく、若干の問題はあるが、参加コースと学年、野球歴において 5 %水準で有意な差がみられた。硬式野球コースの 4 年生や野球歴が短い人がきっかけとなっている人が多く、このベースボールスクールは野球を新たに始める人の足掛かりの場となっていることが考えられる。

東北楽天ゴールデンイーグルスが行っている事業が少年野球の普及にどの程度役立っているかを評価してもらった項目では、ほとんどの人が役立っていると評価した。それぞれの事業に対する評価が、ベースボールスクールへの参加が所属のきっかけになっているかなっていないかの違いで差があるかをみるために行った t 検定では両者に有意な差はみられなかった。全体的に高評価のため、どの事業でも両者に有意な差はみられなかったと思われる。

4．結論

本研究を通して、少年野球の普及に東北楽天ゴールデンイーグルスは大きな影響を与えていることが分かった。特に新たに野球を始めようとする子どもにとって、ベースボールスクールは非常に効果があると考えられる。

元プロ野球選手によって専門的な指導ができることは、プロ野球球団が行う野球教室やスクールの特徴であると思う。この特徴を活かして事業を行っていくことで少年野球の普及に貢献でき、さらには住民にとって身近な存在となりチームへの愛着を持ってもらうことができると思われる。